

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

化学物質等の名称 (製品名)	DEWZ PRO エアコンコーティング
製品コード	
管理コード	
会社名	株式会社ドット・シー
住所	千葉県松戸市二ツ木 135-1
担当部	
担当者	渡辺 隆二
電話番号	047-711-6066
FAX番号	047-711-6067
作成日	2016 年 11 月 15 日
改訂日	2020 年 01 月 10 日
推奨用途及び使用上の制限	エバポレーター防カビ・抗菌剤【業務用】

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

エアゾール	区分 1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系、全身毒性)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (血液系)
※記載のないものは分類対象外または分類できない	

GHS ラベル要素

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール
 高圧容器：熱すると破裂のおそれ
 臓器（中枢神経系、全身毒性）の障害のおそれ
 眠気又はめまいのおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（血液系）の障害のおそれ

注意事項

【安全対策】

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
 使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は手などをよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

【応急措置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

ばく露したとき：医師に連絡すること。

気分が悪いとき：医師の診察、手当てを受けること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

物理的及び化学的危険性

高圧の引火性ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。

燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

含有成分及び含有量

<原液>

成分・化学名	含有量%	CAS No.	化審法 No	安衛法 No.	PRTR 法 No	毒劇法 No
抗菌成分	<1	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
イソプロピルアルコール	1-10	67-63-0	2-207	494	非該当	非該当
香料	微量	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
水	90-99	7732-18-5	非公開	非該当	非該当	非該当

<噴射剤>

成分・化学名	含有量%	CAS No.	化審法 No	安衛法 No.	PRTR 法 No	毒劇法 No
DME	非公開	115-10-6	2-360	非該当	非該当	非該当

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示整理番号

労働安全衛生法：

名称等を表示すべき危険物及び有害物：法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9の政令番号

名称等を通知すべき危険物及び有害物：法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9の政令番号

PRTR法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）対象化学物質の政令番号

毒劇法：毒物及び劇物取締法の政令番号

4. 応急措置

吸入した場合

- ・ 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ・ 呼吸をされていて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。
- ・ 気分が悪い時は、医師に連絡する。
- ・ 意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。
- ・ 汚染された衣類や保護具を取り除く。

皮膚に付着した場合

- ・ 直ちに、汚染された衣類をすべて取り除き、多量の水と石鹸で洗う。
- ・ 外観に変化が見られたり痛みが続いたりする場合は、直ちに医師の診断、手当てを受ける。

眼に入った場合

- ・ 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄する。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。
- ・ 洗浄の際は、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるよう

に洗浄する。

- ・ 洗浄後、直ちに医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合

- ・ 直ちに水で口の中を洗浄し、医師の診断、手当てを受ける。
- ・ 無理に吐かせない。
- ・ 意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。
- ・ 子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断、手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

- ・ 吸入：咳、咽頭痛、錯乱、し眠、意識喪失
- ・ 皮膚：液体が触れた場合、凍傷
- ・ 眼：発赤、痛み
- ・ 短期暴露の影響：眼、気道を刺激する。この液体が急速に気化すると、凍傷を起こすことがある。中枢神経系に影響を与えることがある。意識が低下することがある。

応急措置をする者の保護

- ・ 救助者が有害物質に触れないよう手袋やマスクなど、適切な保護具を使用する。

医師に対する特別な注意事項

- ・ 特になし

5. 火災時の措置

消火剤

- ・ 粉末消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水、耐アルコール性消火剤

使ってはならない消火剤

- ・ 棒状注水

火災時の特有の危険有害性

- ・ 燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法

- ・ 消火作業は、可能な限り風上から行う。
- ・ 関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・ 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
- ・ 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却すること。
- ・ 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却すること。
- ・ 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
- ・ 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
- ・ エアゾール製品の場合、高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は距離を十分にとる。

消火を行う者の保護

- ・ 消火作業の際は適切な保護具（耐熱着衣、呼吸保護マスク）を着用すること。
- ・ 消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必要に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・ 作業の際には適切な保護具（手袋・保護マスク・エプロン・ゴーグル等）を着用すること。
- ・ 風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・ 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- ・ こぼれた場所は滑りやすい為注意する。

環境に対する注意事項

- ・ 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさせないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・ 少量の場合、おがくず・ウエス等を用いて吸着させ、空容器に回収する。
- ・ 多量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。
- ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止策

- ・ 漏出時は速やかに関係機関に通報する。
- ・ 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
- ・ 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
- ・ 火災を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い（技術的対策、安全取扱注意事項、接触回避）

- ・ 製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ 全ての注意書きを読み、理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・ 換気の良い場所で使用すること。
- ・ ばく露防止の為に適切な保護具（手袋・保護マスク・エプロン・ゴーグル等）を着用すること。
- ・ 取り扱い中は、飲食・喫煙を行ってはならない。
- ・ 取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管（安全な保管条件）

- ・ 容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になるところを避け、風通しの良い冷暗所で保管すること。
- ・ 施錠して保管すること。

保管（安全な容器包装材料）

- ・ 特になし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・ 蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- ・ 屋内は全体に換気を行うこと。換気の悪い場所及び蒸気が発生の多い場所には局所排気装置を設けること。

管理濃度及び許容濃度

		日本産業衛生学会	ACGIH	
		許容濃度	TLV-TWA	TLV-STEL
イソプロピルアルコール	200ppm	400ppm 980mg/m ³	200ppm	400ppm

※未記入の欄は設定なし

呼吸用保護具

- ・ 必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を使用する。

手の保護具

- ・ 必要に応じて保護手袋を使用する。

眼の保護具

- ・ 必要に応じて保護眼鏡を使用する。

皮膚及び身体の保護具

- ・ 必要に応じて保護衣、保護前掛け等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: 特異臭

融点／凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: (DME) -23.6℃
可燃性	: データなし
爆発範囲 上限	: (DME) 26.7vol%
爆発範囲 下限	: (DME) 3.4vol%
引火点	: (DME) -41℃
自然発火点	: (DME) 350℃
分解温度	: データなし
pH	: (原液) 9.0±1.0
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に分散
n - オクタール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: (原液) 1.00±0.05
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常条件では安定 40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。
危険有害反応可能性	: 酸化性物質等と触れると反応する危険性がある。
避けるべき条件	: 加熱、スパーク、裸火、及びその他の発火元は避ける。
混触危険性物質	: 酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 燃焼により、一酸化炭素、窒素酸化物、その他低分子モノマーなどの有害ガスが発生する。
その他	: データなし

11. 有害性情報

製品全体としての有害性情報

記載の無いものは、GHS 分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分
急性毒性

経口	LD50=4384mg/kg	(ラット)	(イソプロピルアルコール)
経皮	LD50=12870mg/kg	(ウサギ)	(イソプロピルアルコール)
吸入	LC50=68.5mg/L/4H	(ラット)	(イソプロピルアルコール)
皮膚腐食性／刺激性	データなし		
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし		
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし		
生殖細胞変異原性	データなし		
発がん性	データなし		
生殖毒性	データなし		
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	臓器 (中枢神経系、全身毒性) の障害のおそれ (区分 2) 眠気又はめまいのおそれ (麻酔作用) (区分 3)		
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (血液系) の障害のおそれ (区分 2)		
誤えん有害性	データなし		

12. 環境衛生情報

製品全体としての有害性情報

記載の無いものは、GHS 分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

水生環境有害性 短期（急性）

LC50>100mg/L/96H (ヒメダカ) (イソプロピルアルコール)

水性環境有害性 長期（慢性）

データなし

残留性・分解性

データなし

生態蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データなし

13. 廃棄上の注意

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号・国連名

1950 エアゾール、可燃性

国連分類（クラス）

2.1

容器等級

非該当

国内規制

容器イエローカード

126

積載方法

- ・ 運搬時の積み重ね高さは3m以下

混載禁止

- ・ 特になし

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・ 火気厳禁
- ・ 水漏れ厳禁
- ・ 横積み厳禁
- ・ 容器は転倒、転落、衝撃などを避けること。
- ・ 容器は温度の上昇を防止すること
- ・ 火気の使用を禁止すること
- ・ 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

15. 適用法令

化審法

第一種特定化学物質

非該当

第二種特定化学物質

非該当

労働安全衛生法

通知対象物

イソプロピルアルコール

表示対象物

イソプロピルアルコール

有機溶剤中毒予防規則

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

その他

作業環境評価基準

危険物・引火性の物

危険物・可燃性のガス

毒物及び劇物取締法

非該当

高圧ガス保安法

適用除外

消防法

非該当

化管法（PRTR 法）

非該当

船舶安全法

ガス類 引火性ガス 分類2 区分2.1

航空法

高圧ガス 引火性ガス 分類2 区分2.1

海洋汚染防止法

有害液体物質（Z 分類）

16. その他の情報

参考文献

- ・ GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル作業場内の表示及び安全データシート (SDS) JIS Z 7253(2012)
 - ・ GHS 分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)
 - ・ JCDB 化学品法規制チェックシステム
 - ・ J-CHECK ホームページ(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)
 - ・ 産業中毒便覧 (医歯薬出版株式会社)
 - ・ 危険物船舶運送及び貯蔵規則 (海文堂)
-

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者はこれを参考として自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。